

11月1日～7日は「文化財保護強調週間」

蒲郡市内の指定文化財
蒲郡市には、平成28年10月1日現在、134件の指定文化財があります。

- ・国指定文化財 27件
- ・国指定登録文化財 1件
- ・県指定文化財 7件
- ・市指定文化財 99件

文化財の種類には、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物などがあります。

昭和24年に焼失した法隆寺金堂は、昭和29年に修復されました。これをきっかけに11月1日～7日が「文化財保護強調週間」として定められました。

文化財は、先人がのこしてくれた貴重な財産です。蒲郡市に所在する文化財の保護に、ご協力をお願いします。



協力：佐溝力氏

昭和のアイデア商品

博物館では、昔の人々の暮らしの様子が分かる資料を集めています。その中でも最近特に力をいれているのが、「昭和の生活に関する資料」です。ではまず、次の写真をご覧ください。何か分かりますか？

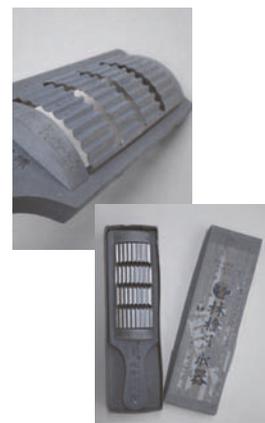


これは、くせの付いた毛糸に湯気を当てて伸ばす時に使う道具です。その名も、「最新式扇形湯伸器」。やかんの口に付けて用いるのですが、その様子を示したものが次の写真です。



毛糸のセーターや靴下をほどこいてまた編み物に使う時は、縮れた状態を直さなくてはなりません。ふつとうしたやかんから出る蒸気を当て、毛糸のくせを取るといったアイデア商品です。図には「一度で毛糸クリーニングも湯伸ばしもできる」とあります。今では毛糸で服を編みだり、それをほどこいて編み直すことは昔ほど行われていません。このような道具も現在では使われなくなりましたが、かつての暮らしの様子を考える上で重要

なものといえるでしょう。もうひとつ昭和の家庭用グッズを紹介したいと思います。



箱には「林檎汁取器」「生き生きした果汁がたくさん取れます」とあります。これは、その名の通りリングゴにゴリゴリ押し当てて、リングゴの汁を取るための道具です。おろし金的一种といったらいでしょうか。商品名に時代を感じます。

昭和の資料を集めています

現在のモノとは、違った趣きを感じられる昭和グッズ。そこからは先人の知恵や工夫が感じられます。また、昔の商品から、今を生きる私たちが学ぶことも多いと思います。

博物館では、急速に姿を消しつつある昭和の道具を集めています。もし昭和の生活文化を感じさせるモノをお持ちでしたら、ぜひ博物館へお譲りください。よろしくお願いします。